



会報

2018 ▶ 2019
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕、
閃きと実行

インスピレーションになろう

会長／大嶋 孝広 幹事／堀 光輝

プログラム

●本日

来賓卓話「農泊について」
留萌観光協会 常勤理事 海東 剛哲様

会員誕生日

鈴木 康 伸
大嶋 孝 広

配偶者誕生日

櫛井 奈 穂
菅 美 奈

●次週予定

－法定休会－

結婚記念日

鵜城 善 輝

No. 2796

第10回 9月12日

出席報告

前
例
会

会員総数……………33名
出免会員……………2名
出免出席……………2名
基準会員出席……………17名
出席率……………57.57%

前
々
会

第7回 8月22日

欠席会員……………13名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………66.67%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告……………

1. 9月2日に米山記念奨学生のご一行が留萌観光をして帰られました。羽幌の会長幹事と国際奉仕委員長、對馬ガバナー補佐と私と堀幹事でお迎えし、留萌海のふるさと館、増毛丸一本間家、國稀酒造をご案内いたしました。そして最後に、留萌クラブ会員の佐々木会員のお店清宝にて昼食をとり、国道231号で札幌へ帰られました。それと、これは非公式の情報ですが、引率された会員の中に千歳RCの次年度幹事さんがおまして、その方の情報では、次年度地区大会はあくまで非公式ですが10月3日・4日の金曜日・土曜日に開催するとの事で、日曜日には本大会をしないとの事でした。次年度福士会長さんにその話を引き継ぎます。



幹事報告……………

- 芦別RCより8月会報と9月例会案内を受領しました。
- 先週に引き続き、米山記念奨学会の賛助会員の募集と、100円募金BOXを回します。先週寄付していない会員さんはよろしくお願ひします。

ゲスト

ファーマライズ北海道留萌大町店

店長 吉田 龍様



委員会報告……………

社会奉仕委員会

燕委員長

昨日、皆様にはFAXにてご案内を送付させ

第9回 9月5日(水) 天候/曇

ていただきましたが、9月8日開催の地区補助金事業・職業体験について、当日ご協力出来る会員さんに集まっていたいで当日プログラムの確認を本日例会終了後に開催いたします。ご協力いただける会員さんはよろしく願いいたします。

ニコニコBOX

- 良い事がありました。 大嶋会長
- 日刊留萌新聞に載りました。 渡邊会員
- 皆様のご多幸を祈念して。 中出会員
- 昨日サウナに入っていて仲の良い知人に会い楽しいサウナになりました。 二ノ宮会員
- 昨日、神居岩のサウナで知人に会い、楽しい時間となりました。 関野会員

前 回 308,000円

今 回 6,000円

累 計 314,000円

プログラム

(先週のつづき)

例えば、生前贈与をしている株式を遺留分の計算式の所から外してしまうとか、生前贈与された株式の評価額を固定しておく。これは生前贈与された後継者が頑張って株式の評価額が多くなったのに、これが相続に関係すると自分が損をするという事で、色々な方法があります。この様な事をするためには、推定相続人と言って、その人が亡くなった場合に相続人になる人達を言い、その推定相続人みんなが合意をしておく事が大事です。これは「俺が亡くなった場合、長男がこの事業を引き継いでいくので、こうしてくれ」と皆で合意をしておく、生前に対策をしておくことが大切だと思います。細かい話は専門家の方に聞いていただければよろしいと思いますが、遺留分というものがあるのだという事、それに対応しておくことが必要であると覚えておいて欲しいと思います。その他として、事業継承税制という事で自社株式にかかる

相続税を大幅に猶予する制度もございます。亡くなった人が代表者で、後継者の方が、相続の時には役員である事など、生前贈与の場合は3年前から役員であることなど、中小企業である事など、雇用をきちんと維持する事など、この様な条件をクリアすれば、色々と優位に働くものがあります。

ご承知の方は多いと思いますが、死亡退職金だとか、死亡保険金、こういったものには相族税が掛からない枠がありますよといった事で、相続税を抑える事が出来る場合があります。気を付けて欲しい所では、経営者として債券や債務や補償、担保などを引き受けていらっしゃる方もいると思いますので、これらもキチッと考えておかなければなりません。経営者が会社に対して貸し付けを行っている場合が多くありますが、「返済はいつでもいいよ」と言っていますが、亡くなった場合はこのお金は相続財産になりますので、後継者はよいがその他の相続人にしてみれば「私の取り分だから早く現金化してくれ」と言われ、「お金をください」と言われる場合があります。これらも事前の対策が必要になります。後継者問題として、事業承継の場合、色々と仕事を学んでもらう事が必要で、事業運営に必要な実務のスキル、決算書を見る、税金の知識を覚えましょうなど、企業の人事コンプライアンスのことなどももちろん必要ですし、経営者としての分析経営判断など、業界の動向などや経営環境、第二創業として新たな事業を育てるなどお金の計算リスクマネジメントなども必要になってくると思います。

事業承継も、後継者の育成も相続対策もやはり、生前にキチッと対策をしておくことが大切です。会社も家庭も大切ですので、自分の思いをキチッと伝えておく事が大切だと思います。争族にならないように、円満な引継ぎをしていただければと思います。本日は拙い話でしたがご清聴ありがとうございました。

来賓卓話「良い薬の飲み方と健康体操」

北海道ファーマライズ留萌大町店

店長 吉田 龍様

本日はこの様なお話の出来る場を設けていただきありがとうございます。身近なようで、あまり身近でない薬局の上手な使い方と最新の情報、そしてどこでも出来るコンバットエクササイズの紹介をいたします。

まずは、簡単な自己紹介をいたします。私は株式会社北海道ファーマライズが運営する留萌大町薬局で薬局長をしている吉田龍と申します。荻野病院さんの斜め前にある薬局で、なかなか知名度が低いかなと思います。趣味は筋トレで、主食は肉です。今でも朝の4時45分に起きて筋トレをしています。肉を1日2回は食べますが、最近尿酸値が上がってきて痛風発作が月に1～2回起きまして、そろそろ西原先生の所に行かなければと思っております。この度、留萌ロータリークラブの田中会員の紹介で話をさせていただく事になりました。田中社長と私は同じ小学校で高校では柔道部に所属しておりました。お互い若い頃はスリムだったなと思っております。

本日のお話は、外来服薬支援と薬局が行う在宅業務、かかりつけ薬剤師、そしてコンバットエクササイズ入門編の4つです。

まずは外来服薬支援ですが、これには色々あり、多いのが一包化と言って朝昼晩と飲む薬を一包にまとめて、飲みやすくする調剤方法です。これをすると、いちいちシートからAの薬は1錠、Bの薬は2錠と出して飲む必要がないため、飲みやすく飲み間違いも減ります。しかし、複数の病院にかかってそれぞれが一包化すると、それぞれ見分けがつかなくなってしまう、高齢者には間違えて同じものを飲んでしまう事があります。薬の種類によっては血圧の薬や安定剤などは十分に気を付けなければなりません。そこでこの様な時にどうするかと申しますと、薬局で薬を全部預かって一包化しなおす事で、患者さんの飲み間違えるリスクをぐっと減らす事が出来ます。また他の薬局でもらった薬でもこの様にすることは出来ます。全ての病院の薬を



合わせてまとめ、色分けしてお薬カレンダーの朝昼夕の色分けに沿って薬の袋に色付けをします。そうすると高齢者の方も自分でお薬カレンダーに薬をセットしやすくなります。外来服薬支援とは、この様に一旦調剤した薬を飲みやすく出来るように調剤しなおしたりする事です。それ以外にも、患者宅に伺い、どの様にすれば服用しやすく出来るか相談に乗り、色々と工夫やアドバイスしたりする事も含まれます。気になる費用は1850円で高いかと思われませんが、月に1回で、かつ1割負担であれば180円位ですので、それほど患者さん本人には負担にならないと思います。薬を服用できず、山の様に薬を余らせて捨ててしまう事を考えると、きちんと服用できる方が医療費削減に役に立つと思われれます。最近では訪問看護ステーションからの相談も多く、患者さんの自宅を訪問して色々提案させていただく事も多くなってきました。

さて、2番目は薬局が出来る在宅対応です。

「体が不自由で薬局まで行けないので自宅へ届けて欲しい」「複数の種類の薬を飲んでも大丈夫だろうか」「飲み方、飲み合わせが分からない」「複数の病院からの薬でゴチャゴチャになって分からなくなって整理できない」「最近薬が飲みにくくなった」など、薬局に相談される事が多くなりました。ちなみに、私の所の薬局では在宅さんは全て薬を預かり、一括して管理する所から始まります。在宅対応した場合、外来服薬支援の費用はかからなくなります。薬をきちんと服用できるように何度も訪問する事があります。訪問で費用が発生しますが薬の管理料がかからなくなりますので、それほどの値上がりに

第9回 9月5日(水) 天候/曇

はなりません。費用は週に1回、月4回までかかりますが、それ以上はかかりませんので、正直人件費を考えると赤字になります。

在宅訪問までの流れにはドクターからの依頼と、薬剤師からの提案、ケアマネからの依頼があります。薬剤師は患者さん宅に訪問し、服薬指導をして状況をドクターやケアマネに報告。残薬が酷い時は服用の変更や薬の削減等をドクターに提案する事もあります。前に薬があまり飲めていないとの報告を訪問看護から受けたドクターの依頼で在宅に入った事があります。その方は入った当時は認知状態も悪く、薬は飲めない状態でした。薬をセットして帰った後に夜中に連絡が来て「いつ家に入った」とクレームの電話が来たこともあります。私がお宅を訪ねた事も忘れていたのです。このお宅には週2～3回ほど在宅指導に入った事もあり、費用請求できるのは週に1回までなので、完全に赤字の案件でした。この方も在宅訪問を続けていくうちに薬をしっかり飲めるようになり、どんどん状態が良くなり、施設に入らなければならぬという状態だったのが、今では一人で元気に暮らしています。認知状態も改善し、1週間前に私と話した内容も覚えている位になりました。この件以来、私は在宅と外来服薬支援に力を入れるようになりました。

最後にかかりつけ薬剤師制度についてお話をします。一人ご指名の薬剤師を決めて、その薬剤師が健康相談や薬の管理、服薬指導等を行う制度です。薬局で薬をもらう時は毎回薬剤師が違うという事が多いですが、かかりつけ薬剤師を決めると毎回同じ薬剤師が担当します。その薬剤師が一元管理を行う様になるので、重複薬だとか、この薬はいらぬのではと気が付き易くなります。かかりつけ薬剤師とかかりつけ薬局を決めておくと、先に説明した外来服薬支援や在宅対応にも移行しやすくなります。一例を上げますとこんな事がありました。私がかかりつけ薬剤師を務める方のお母様の相談を受けた時のことです。あまり詳しくは話せないのですが、この方も難しい病気を抱えており、お母様の状態悪化により、ご自身の状態もかなり悪化

した状態でした。お母様の状態を詳しく聞くと、これはすぐに介護関連に連絡を取り、精神科か脳外科を受診させた方がよい状態だという事がわかりました。放っておいたら恐らく共倒れ、よくニュースで聞く最悪の結末も想像されました。すぐにヘルパーさんが家に入れるようにして、精神科も受診できるようにしました。この後、本人もお母様も状態は改善していきました。かかりつけ薬剤師はこんな事まで絡んでいく業種だと思っております。感覚としては、昔地域の科学者、ご意見番だった薬屋さんの復権だと思っています。実は西原先生に怒られた事がありました。「何で俺が前立腺の治療をしている患者にそのまま抗コリン薬を渡すんだ」と前立腺が悪い方に風邪薬等に入っている抗コリン薬を投与してしまうとオシッコが出なくなってしまうのです。“薬を渡して終り”という事にならないように、私はその時のことを忘れずに頑張る事にしています。

《顔なじみの薬剤師をつくろう》

- ①処方箋をもらったら必ず行くかかりつけ薬局をつくろう。
- ②かかりつけ薬局で信頼できるかかりつけ薬剤師を見つけよう。
- ③薬局で申し出て、同意書を交わしたら完了です。かかりつけ薬剤師料は20円から100円です。(負担割合により変動)

以上、外来服薬支援、薬局の在宅支援、かかりつけ薬剤師についてお話をさせていただきました。